

群馬県桐生市における1歳6カ月児健康診査の 評価とモデル化に関する研究

分担研究者 松本 芳郎（桐生厚生総合病院）
桐生地区1歳6カ月児健康診査研究班一同

はじめに

群馬県桐生市における1歳6カ月児健康診査については、昭和52年10月より全市の対象児に対して実施されている。その実施状況と問題点についての概要は、昭和52・53年度本研究班総会において報告し又研究報告書に掲載されている。

本年度の研究計画としては、①診査体制及び診査、問診票の継続的な検討 ②血液障害スクリーニングの診査体制への組入れ ③言語、行動発達異常児の事後指導、経過及び精査に関する連絡票の作成 ④歯の観察、清浄法の画一化 ⑤事後訪問指導の実施 ⑥ツ反自然陽転者に対する精査、追跡の徹底化 ⑦体質症状チェックの続行の7点を設定し、それぞれについて検討または実施した。

研究実施状況

1) 診査体制及び診査問診票の継続的な検討

診査体制としては前年同様月3回（市保健所・第2金 市身障者センター・第3金→北公民館に変更 メジカルセンター・第4金）とし、区域的に会場を指定した。また、診査票については、F-食事内容に、昨日の食事、朝、昼、夕、間食（ジュース類、その他）の項目を入れ、I-診察欄（54）の歯科部門を若干改訂し、（55）血液検査項目を挿入した。

2) 血液障害スクリーニングの診査体制への組入れ

前年同様先着10名に限り、毛細管微量採血法-自動血球計算器によりHb、Ht、RBCを測定し、Hb 12 g/dl、Ht 35%未満及び

MCV 0.75以下の者に対して血清鉄を中心とした精査を行った。

3) 言語、行動異常児の事後指導、経過及び精査に関する連絡票の作成

診査票と別の連絡票を作成し、言語、行動異常児→市身障センター内言語教室、器質的、神経学的異常児→厚生総合病院小児科にて追跡観察を行う際の資料とし、更に精査内容、治療状況については同票を市保健課に保管して、事後訪問指導、3歳児健診等に資することとした。

4) 歯の観察、清浄法の画一化

1会場、1名の歯科衛生士を参加させて、清浄法等に関する指導を行った。

5) 事後訪問指導の実施

追跡観察者26名に対し、主として電話による指導及び働きかけを行ったが、そのうち家族の対応に問題のあるものに対しては直接訪問し、歩行障害児の1名には5回の訪問指導を行っている。

6) ツ反自然陽転者に対する精査、追跡の徹底化

前年に比し6名と少なかつたが、全員の精査を施行できた。発症者は幸いにも認められなかつた。また、疑陽性者に対してツ反再検を行い、その際陰転したものにBCG接種を行う予定で現在88名が、リストされている。

7) 体質症状のチェックの続行

前年度作成のチェックポイントを診査票に貼付したが、多数の体質症状がチェックされた。

本健診に対する支出

昭和54年度桐生市1歳6カ月児健診支出見込みは、報償金100000円、役務費8420円、需要費151981円、医師、看護婦等委託料

2541900円、計2922127円で、これは市の母子保健全体に関する支出の約半分を占めている。

また市の超過負担は、1名当り1651円となっている。このうち医師等の委託料は、医師1時間5500円、30分毎に2200円増、助産婦・保健婦1700円 600円増、看護婦・歯科衛生士1400円 500円増で、1回当りの勤務時間は、平均2～2.5時間であつた。

診査順序及び所要人員

表1 の如くで、昨年同様20名が動員されている。

タイム・スタディ

平均49.5分を要し、前年より約10分増している。これは歯科衛生士の加わつたことと、診査員のチェックが詳細になつたためと思われる。

受付	1～1.5分
問診	6～10分
計測	3～8分
歯科	1～3分
小児科	6～10分
血液検査	2～3分
指導	栄養士 5～20分
	保健婦 3～7分
	歯科衛生士 3～4分
計	30～68分 (平均 49.5分)

診査成績

1) 実施状況 (S. 54. 4～S. 55. 2)

3会場	33回
予定人員	1654名
実施人員	1450名
受診率	87.7%
月別受診率	4月 94.1%
	5月 79.1%
	6月 98.7%

7月	88.5%
8月	91.8%
9月	82.8%
10月	86.8%
11月	91.1%
12月	82.6%
1月	81.2%
2月	87.3%

1会場平均受診者数 43.9名

2) 診査票より

A、家族歴

(12) 主な保育者(昼間)

母	1090 (74.9%)
家族	188 (12.9%)
施設	63 (4.3%)
その他	114 (7.8%)

(13) 母親の職業

あり	655 (45.0%)
自家営業	301 (49.5%)
農業	8 (1.2%)
内職	160 (24.4%)
勤務	163 (24.9%)

B、出生歴

(14) 妊娠中の異常

あり	546 (37.5%)
貧血	129 (23.6%)
たん白尿	150 (27.5%)
高血圧	44 (8.1%)
浮腫	128 (23.4%)
尿糖	25 (4.6%)
その他	133

(15) 分娩異常

あり	320 (22.0%)
帝王切開	162 (50.6%)
早期破水	8 (2.5%)
吸引分娩	93 (29.1%)
鉗子分娩	15 (4.7%)
微弱陣痛	6 (1.9%)
その他	103

(16) 早期新生児の状態

異常あり	210 (14.4%)
強い黄疸	130 (61.9%)

仮死	16	(7.6%)
保育器(未熟児)	49	(23.3%)
O ₂ 使用	19	(9.0%)
その他	79	(37.6%)

C、既往歴

(19) 乳児期の栄養方法

母乳	588	(40.6%)
人工	338	(23.3%)
混合	524	(36.1%)

(21) 経過した伝染病

なし	964	
あり	486	
麻疹	211	(43.4%) 14.6
突発性発疹	180	(37.0%) 12.4
風疹	20	(4.1%) 1.4
水痘	127	(26.1%) 8.6
ムンプス	17	(3.5%) 1.2
百日咳	51	(10.5%) 3.5
その他	22	(4.5%) 1.5

(23) ひきつけ

あり	53	(3.7%)
1回	38	(71.7%)
2回	7	(13.2%)
3回	6	(11.3%)
頻回	2	(3.8%)

(24) 予防接種

ポリオ	未	177	(12.2%)
	すみ	1273	(87.8%)
	1回	410	(32.2%)
	2回	883	(67.8%)
ツ反	すみ	1066	(73.5%)
	+	6	(0.6%)
	±	88	(8.3%)
	-	972	(91.2%)
BCG	すみ	817	
	(ツ反陰性者の84.1%)		
風疹	すみ	0	
麻疹	すみ	50	(3.4%)

D、行動発達・言語発達

(26) 運動機能

よく歩く	+1442	(99.4%)
-	8	(0.6%)

手をひいて階段を上がる	+1446	(99.4%)
-	4	(0.3%)
鉛筆をもつてなぐり書きをする	+1444	(99.6%)
-	6	(0.4%)

(27) 眼

よく見える	1422	(98.1%)
よく見えない	2	(0.1%)
斜視	26	(1.8%)

(28) 耳

よく聞こえる	1450	(100%)
よく聞こえない	0	

(29) 精神発達

おもちゃなどで遊ぶ	+1449	(99.9%)
-	1	(0.1%)
人のまねをする	+1444	(99.5%)
-	6	(0.5%)

絵本に興味を示す

+1437	(99.1%)	
-	14	(0.9%)

(30) 言語

パパ・ママなどの片言を言う	+1420	(97.9%)
-	30	(2.1%)

名前を呼ぶとふり向く

+1448	(99.9%)	
-	2	(0.1%)

絵本を見て知っているものを指さす

+1427	(98.4%)	
-	23	(1.6%)

(31) 社会性

相手になつてやると喜ぶ	+1450	(100%)
-	0	

他の子供に関心をもつ

+1447	(99.7%)	
-	3	(0.3%)

E、生活習慣・しつけ

(33) 上衣をぬごうとする

	+ 1407	(97.0%)
	- 43	(3.0%)
(34) 排泄のしつけ		
始めている	1068	(73.7%)
始めていない	382	(26.3%)
(35) 事故		
あり	246	(17.0%)
F、食事		
(36) 食事動作		
水をコップで飲む		
	+1441	(99.4%)
	- 9	(0.6%)
さじやフォークで食物を口に運ぶ		
	+1431	(98.7%)
	- 19	(1.3%)
(37) 食事習慣		
よく食べる	789	(54.4%)
普通	295	(20.3%)
少ない	207	(14.3%)
むら食い	153	(10.6%)
ひどい偏食	24	(1.7%)
その他	15	(1.0%)
母乳が止められない		
哺乳ビン使用		
	e t c .	
(38) 食事内容		
適当	919	(63.4%)
難あり	531	(36.6%)

G、育児上の問題

(40) 行動上の問題		
とくにない	849	(58.6%)
かんが強くよくぐずる	246	(17.0%)
異常におとなしい	0	
周囲の人に無関心	1	(0.1%)
その他	398	(26.8%)

H、発育

(41) 身長		
10パーセント以下	248	(17.1%)
平均	1127	(77.7%)
90パーセント以上	75	(5.2%)
(42) 体重		
10パーセント以下	95	(6.6%)

平均	1184	(81.7%)
90パーセント以上	171	(11.7%)
(43) カウプ指数		
10パーセント以下	77	(5.3%)
平均	1138	(78.5%)
90パーセント以上	235	(16.2%)

I、診察

(47) 形態異常		
停留睾丸	9	・そけいヘルニア 5
胸廓異常	5	・小頭症 2
異常顔貌	2	・斜頸
肛門奇形	2	・尿道破裂
・O脚		・左乳房肥大
・兔唇		・脂肪腫
・扁桃肥大		
(48) 皮膚		
異常あり	211	(14.6%)
湿疹	118	(55.9%)
血管腫	6	(2.8%)
その他	87	(41.2%)
(49) 心雑音		
なし	1436	(99.0%)
あり	14	(1.0%)
(機械的)	10	・病的 4)
(50) 腹部		
異常なし	1446	(99.7%)
あり	4	(0.3%)
(51) 精神・神経学的所見及び運動機能		
正常	1444	(99.6%)
境界	4	(0.3%)
異常	2	(0.1%)
(52) 眼		
視力障害		
	- 1447	(99.8%)
	+ 3	(0.2%)
脳性麻痺	1	・未熟網膜
症	1	・原因不明 1
斜視	- 1420	(97.9%)
	+ 16	(1.1%)
	・±14	(1.0%)
(53) 聴力障害		
	- 1447	(99.8%)
	+ 1	(0.1%)
	± 1	(0.1%)
(54) 歯		
生歯	0~8本	48 (3.3%)

	9～12本	254 (17.8%)	
	13～16本	1110 (77.6%)	
	17本以上	18 (1.3%)	
う蝕	1～2本	96 (48.0%)	
	3～4本	74 (37.0%)	
	5～6本	23 (11.5%)	
	7～8本	5 (2.5%)	
	9本以上	2 (1.0%)	
不正咬合		26	
J、総合判定			
健康	1299 (89.6%)	異常	151 (10.4%)
K、指導区分			
異常なし		532 (36.7%)	
助言指導		761 (52.5%)	
精検		117 (8.1%)	
貧血	48・斜視	21・ツ反陽性	10
O脚	3・ひきつけ	3	e t c .
要治療		3	
湿疹	2・白斑	1	
施設紹介			
追跡観察		37	
言葉の遅れ	9・歩行障害	4	
陰のう水腫	1・e t c		

応用研究より

1) 血液検査 (S. 54. 4～S55. 2)

R・M超微量血液採取管ユニットを用いて、血液障害のマススクリーニングを行つた。実施者330名の中から26名の要治療者が見出され、その中に血清鉄の著しく低いものがあり、断乳期の貧血、特に鉄欠乏性貧血がチェックされた。

(表2)

2) 体質症状 (S. 54. 3～S. 55. 2)

受診者全員に10の体質症状のチェックを行つたところ、その16%がかなり明らかな体質症状を有していた。乳児期栄養法の体質症状に及ぼす影響は、母乳、人工、混合共略同数であつた。

断乳期の幼児食への移行が、バランスのとれた副食の指導によつて、スムーズに行われる必要があると思われる。(表3)

まとめ

1) 第3年次に入り依然として受診者の出足は好調で、会場整理も円滑に行われ、本健診も定着したように思われる。ただ受診率は前年の91%に比し本年度88%とやや下降し、特に盛夏、厳冬に減少していることは、診査担当者、受診者共やや慣性的に流れている気配も感じられ、この点が憂慮される。

2) 異常者のチェックは前年より増加し、特にひきつけ、言語障害、歩行障害、視力障害等の見出されたことは担当者の練度の上昇していることをうかがわせた。

3) ツ反疑陽性のものが88名認められたが、再検時陰性のものが多く、陰転者全員にBCG接種の機会が得られた。

4) 予算面で、本診査が母子保健関係予算の半ばを占めている実状は異常と思われるので、今後国からの援助が増加しない限り、明年以降は診査人員の減員とそれに伴う診査体制の縮少を計らざるを得ない状態に追われている。

5) 訪問指導の際、先づ電話による指導でスクリーニングすることは、指導者の限られている場合有効と思われる。

6) 食事に起因すると思われる鉄欠乏性貧血が多数発見されたが、断乳のおくれとの関連がうかがわれた。

7) 明らかな体質異常が約15%に認められたが、様々な立場を統合したバランスのとれた幼児食の指導が必要と思われる。

表 1

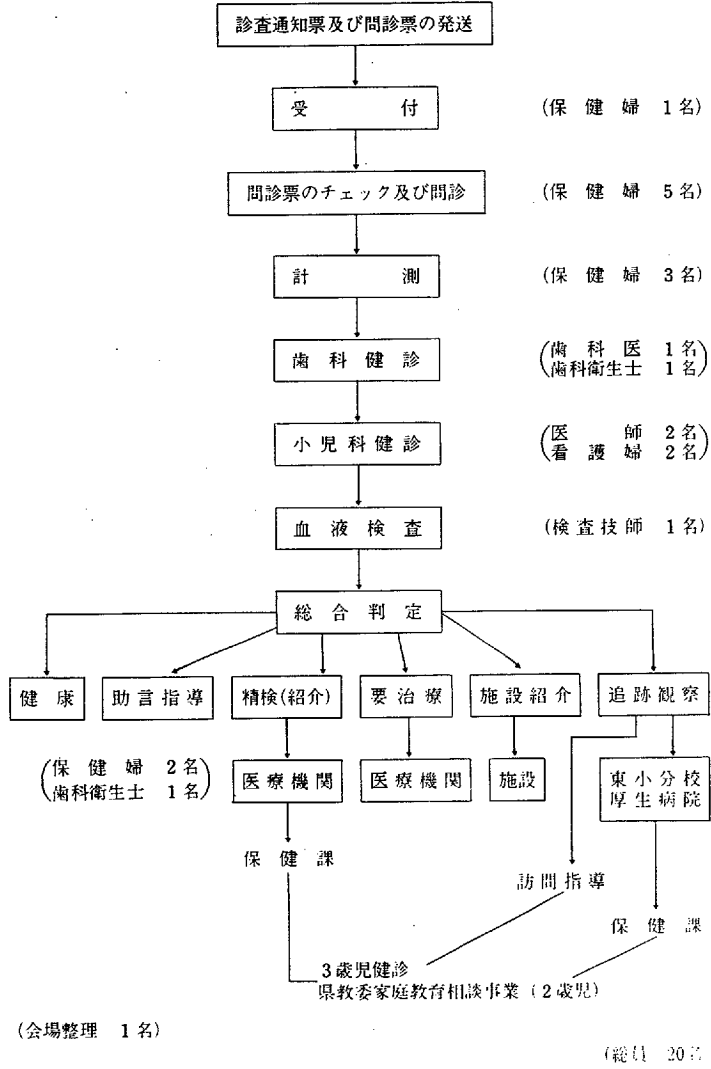


表2 血液障害スクリーニング

要治療者 26名 / 330名

(S. 54.4~S. 55.2)

R B C	4 9 3 . 0 7
H b	1 0 . 7 2
H t	3 2 . 5 3
M C V	0 . 6 6 5 8
S - F e	3 7 . 6 9
U I B C	3 5 1 . 3 1

表 3 体質症状について (昭和54年3月～昭和55年2月 ただし、昭和54年4月～9月 詳細はNo.2) (略)

	No.2																							小計	合計
	2/23	3/9	3/16	3/23	10/12	10/19	10/26	11/9	11/16	11/30	12/7	12/14	12/21	1/11	1/18	1/25	2/8	2/15	2/22						
皮膚	4	16	3	10	5	2	7	4	7	3	13	4	5	4	6	4	6	4	10	116	81				
肛門周囲発赤																									
皮膚のざらざら	5	3	4	4	4	2	1	4	5	6	5	6	2	10	3	5	12	6	84	81	554	(52.0%)			
ストロファルス(じんましん)	3	2	1	1	1	1	1	4	4		1	3		2					19	27					
湿疹	5	4	2	9	5	2	1	3	10	2	8	2	3	8	1	5	13		78	71					
下痢しやすい	1				1	3	0					1				2			7	10					
便秘しやすい	3	2	1	3	3	2	3	2	1							1	1		23	19	80	(7.5%)			
吐きやすい	3						1	2								3	1	1	18	3					
風邪をひくと必ずせいでいする	7	8	4	6	4	6	9	5	4	7	8	3	11	2	3	5	11	3	101	141					
ときどき呼吸困難																	2		1	3	7	442	(41.5%)		
ひどい鼻閉、鼻汁	13			13	4	1	7	1	3	12	4	12	20	9	3	15	17	1	122	68					
合計件数	41	26	16	46	37	17	32	18	36	30	44	29	51	18	29	17	50	51	21	568	498	1066 (性)			
A 対象者数	56	52	54	56	39	25	55	51	48	45	38	37	55	26	58	37	51	50	43	820	790	1610 (人)			
D 体質症状記載もれ				6	1	1	0	1	1	0		5	1				1	2	0	19	13	32	差引1578人		
B 1件以上の症状有り	23	21	8	25	14	11	21	17	24	19	25	17	33	14	18	9	28	30	16	350	350	700(444%)			
C 2件以上の症状有り	11	7	3	15	8	2	6	4	7	8	13	8	14	3	8	5	13	14	5	151	110	261(165%)			
B/AX100 (A. A-D)	41.1	40.4	15.0	50	37.0	46.0	38.2	51.1	34.0	42.2	65.8	53.1	61.1	54.1	31.0	24.3	56.0	62.5	37.2	43.7	45.0%				
C/AX100 (同上)	19.6	5.6	5.6	30	21.1	8.3	10.9	15.0	8.0	18.1	34.2	25.0	26.0	11.5	14.0	13.5	26.0	29.2	11.6	18.9	14.2%				

乳児期に比して、呼吸器症状が増えている
 症状保有者率 ⊕以上 44.4%
 ⊖以上 16.5%
 ...名平均 0.68件

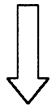
表 4

番号	質問事項	回答欄
1 2	1 今までに健診や育児指導を受けたことがありますか。 最後に乳児検診を受けたのはいつですか。	ある・ない・わからない 昭和 年 月(生後 か月)
	A 3 4 5	3 家族に何か病気はありませんか。 ある場合は記入して下さい。
4 日中お子さんは誰が見ていますか。		母・祖母・その他()
5 お母さんは職業をお持ちですか。 はいの場合○印をつけて下さい。		いいえ・はい・わからない ①自家営業 ②農業 ③助産(職種)
C 6 7 8 9 10	6 今までに何か注意を受けたことがありますか。	いいえ・はい・わからない
	7 何か病気にかかりやすいことがありますか。	ない・ある・わからない
	8 何か病気にかかりましたか。 はいの場合○印をつけて下さい。 (中等度以上)	いいえ・はい・わからない 肺炎・重い下痢・伝染病 事故けが等() 入院した(病名) 手術した(病名)
	9 今、治療中の病気がありますか。	ない・ある・わからない
	10 予防接種を受けていますか。(1種類、1回でも) はいの場合○印をつけて下さい。	はい・いいえ・わからない ①ポリオ生ワクチン ②三種混合ワクチン ③はしか ④風疹 ⑤ツベルクリン反応(+・-) 未実施 BCG接種(年 月)
D 11 12 13 14 15 16 17 18	11 よく歩きますか。(約20歩以上)	はい・いいえ・わからない
	12 手をひかれて階段をのぼりますか。	はい・いいえ・わからない
	13 おもちゃなどでよくあそびますか。	はい・いいえ・わからない
	14 人のまねをしますか。	はい・いいえ・わからない
	15 絵本に興味がありますか。	はい・いいえ・わからない
	16 絵本を見て知っているものを指さしますか。	はい・いいえ・わからない
	17 パパ、ママなどの意味のある片言をいいますか。	はい・いいえ・わからない
	18 相手になってやるとよろこびますか。	はい・いいえ・わからない
E 19	19 おしっこや、うんちのしつけをはじめていますか。	はい・いいえ・わからない
F 20 21 22 23	20 さじを持って自分で食べようとしますか。	はい・いいえ・わからない
	21 よく食べますか。	はい・いいえ・わからない
	22 1日の食事の内容はどんなですか。(質と量)	①大人と同じものを少しづつ ②やわらか目のごはんや副食 ③母乳(回) ④牛乳(回) ⑤その他()
	23 間食は与えていますか。	はい(何を 1日 回) いいえ
G 24	24 たえず相手になって話しかけていますか。	はい・いいえ・わからない
I 25 26 27 28 29 30	25 よく見えていると思いますか。	はい・いいえ・わからない
	26 目つきや、目の動きが悪いという心配はありませんか。	ない・ある・わからない
	27 耳が遠いという心配はありませんか。	ない・ある・わからない
	28 名前を呼ぶとふり向きますか。	はい・いいえ・わからない
	29 食後歯をきれいにしていきますか。	はい・いいえ・ときどき
	30 何か相談したいことや、心配はありませんか。 ある場合は○印をつけて下さい。	ない・ある・わからない ①発育や発達のこと ②困った行動やくせなど育児上のこと ③その他()



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



はじめに

群馬県桐生市における1歳6ヵ月児健康診査については、昭和52年10月より全市の対象児に対して実施されている。その実施状況と問題点についての概要は、昭和52・53年度本研究班総会において報告し又研究報告書に掲載されている。

本年度の研究計画としては、診査体制及び診査、問診票の継続的左検討 血液障害スクリーニングの診査体制への組入れ 言語、行動発達異常児の事後指導・経過及び精査に関する連絡票の作成 歯の観察、清浄法の画一化 事後訪問指導の実施 ツ反自然陽転者に対する精査、追跡の徹底化 体質症状チエツクの続行の7点を設定し、それぞれについて検討または実施した。